

Q 地理

手稲区は、市の北西部に位置し、西・北・南区、小樽市および石狩市と接しています。面積は56.77km²で東西に10.9km、南北に約4kmの広がりを持っており、札幌市の10の行政区の中では6番目の広さを有しています。

手稲区は、市内でも極めて自然に恵まれた地域であり、南西部に位置する手稲山（標高1,023.1m）を源として市街地を流れる軽川、三神別川、中の川、星置川などの河川には、魚や昆虫、水鳥が数多く生息しています。

手稲区のシンボルである手稲山は、登山やハイキングのほか冬はスキーやスノーボードなど、四季を通じて絶好のスポーツ・レクリエーションの場として市民から親しまれています。北尾根ルート（自然歩道）や山頂からは眼下に広がる札幌の街並みや日本海、さらには遠く稚毛連山などの素晴らしい眺望を楽しむことができます。平成26年6月には、その標高もちなんで10月23日を「手稲山の日」と定められました。

手稲鉄北地区

曙地域・前田地域（一部）・明日風地域で形成されています。居住区と工業地域が地区のほとんどを占め、温水プール、図書館、体育館などの公共施設のほか、金庫加算や機械製作など多岐の工場が稼働しています。明日風地域は、平成19年の土地区画整理事業によって誕生した活気あふれる新興住宅地です。

星置地区

星置地域と山口地域で形成されています。星置地域は、小樽と札幌を結ぶ交通の要所で、昭和60年に国鉄星置駅、平成7年にJRほしき駅が開設され、一気に開発が進みました。山口地域は、地勢を生かし、札幌の特産物として知られる甘芋の強いスイカやカボチャを生産しています。地域の歴史を物語る山口運河は、地域のシンボルとなっています。

稲穂金山地区

稲穂地域と金山地域で形成されています。稲穂地域は、稲の穂がたわわ実ることを夢見て開墾に努めた先祖の苦労をしのび「稲穂」と名付けられました。金山地域は、手稲山の繁栄とともに築かれたまちで、昭和17年に「金山」と名付けられました。両地域とも手稲山の山裾に位置し、現在は自然環境に恵まれた住宅地が広がっています。

手稲区って
Q どんどこ



Q あゆみ

手稲は、明治の初期に北海道の交通の要所として開けたまちです。当時、主に小樽港を基点に物資の輸送が行われていたことで、軽川（現在の手稲本町）やサタロベツ（現在の富丘）が、小樽港から札幌への陸上輸送の中継点となり、集落が形成されていきました。

明治の中ごろになると手稲山に山に囲まれ、星置には広敷町からそれぞれ移住者があり、農耕地の開墾を始めた。また、主に荒廃地であった前田や新発寒は、農業を主とした集落になっていきました。同じころ、手稲山で金鉱採掘が見えられ、昭和10年代中ごろには産金量が最盛期を迎えましたが、戦後次第に衰退し、昭和46年に閉山しました。

昭和42年、手稲町が札幌市と合併。以後、新興住宅地が次々とでき、昭和47年に札幌市の政令指定都市移行に伴い（旧）区となりました。平成元年11月6日、人口の著しい増加に伴ってそれまでの西区から分区分し、手稲区が誕生しました。当時は約105,000人だった人口が、令和7年1月1日現在では、140,503人（62,664世帯）となっています。



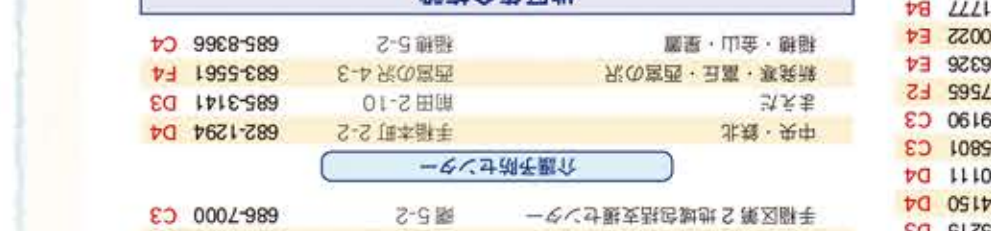
前田地区

旧加賀藩主の前田家が「前田農場」を創立したのが始まりで、昭和17年に地域名称として前田と定められました。石狩手稲線沿いの前田中央商店街や下手稲通の大型店の進出など手稲区の中心地として賑わいを見せながらも、区内最大の広さを持つ前田森林公園や市内最大級の屋外プールを備えた手稲稲穂公園など、公園・緑地も多く、春には軽川や旧軽川沿いの美しい桜並木が、地域の人々を楽しませています。



新発寒地区

西区からの分区分は「新寒」という地名でした。地区内には2つの川が流れており、その川では四季折々の表情を見せる手稲川を仰ぎながら桜づつみを楽しむことができます。旧中川では鴨の親子が戯れ、とんぎょ（トホントヨネ）が、生息する姿を見られるなど、自然豊かな住宅地として発展しています。



富丘西宮の沢地区

中の川を境に富丘地域と西宮の沢地域で形成されています。富丘地域は、札幌と小樽を往來する人々や旅人たちの休憩所・寄留所として栄え、西宮の沢を含む沢地域は、札幌市と手稲町との合併を機に開発が進み、平成元年の分区分とともに西宮区側は「宮の沢」、手稲区側は「西宮の沢」となりました。現在は両地域の北側にJR函館本線、中央に2本の幹線が走り、交通の利便性の良さや豊かな自然環境を併せ持つ住宅地となっています。



手稲山自然歩道

区内から手稲山に登れる自然歩道「手稲山北尾根ルート」は、石狩野手と日本海の眺望を楽しむことができ、手稲山の雄大な自然とその恩恵を感じ取ることができます。



明日風公園

市内最大の面積の運動公園です。テニスコート、野球場、パークゴルフ場、プールなどのスポーツ施設があります。公園内の「ていねプール」(夏季のみ営業)には、流れ星プールやウォーターライダーなど多岐のプールがあり、子どもから大人まで幅広く楽しめます。



星置公園・星置スケート場

公園内には約30種類の健康器具とジョギングコースがあり、健康づくりに気軽に取組めます。公園内のスケート場（※）は、1年を通して営業しており、夏でもスケートを楽しめます。



手稲山自然歩道

区内から手稲山に登れる自然歩道「手稲山北尾根ルート」は、石狩野手と日本海の眺望を楽しむことができ、手稲山の雄大な自然とその恩恵を感じ取ることができます。



災害に備えて

避難場所等について

指定緊急避難場所兼基幹避難所

指定緊急避難場所は、災害から身を守るため緊急的に避難する施設または場所です。災害の種類ごと（洪水災害、土砂災害、地震災害、大規模な火災）に指定しています。

市立小中学校などについては、災害の危険がなくなるまで一定期間閉鎖し、または災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する基幹避難所を兼ねています。災害時の拠点場所となり、備蓄物資等の供給を行います。

地域避難所

基幹避難所を補完する役割を果たす施設です。状況に応じて開設しますが、備蓄物資がないため、一定期間は基幹避難所へ統合されます。

一時避難場所

地震発生時に避難が必要な場合、一時的に避難し、身の安全を確保する場所です。または、地域で集合して安否確認等を行う場所です。区内の全ての公園などが指定されています。

災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生した場合に、NTTがサービス提供を開始する被災地の方の安否を伝えるための声の伝言番です。携帯電話でも同様のサービスがあります。詳しくは携帯電話各社にご確認ください。

防災に関する冊子

地域の災害発生危険度や非常持ち出し品など日頃の備え、避難場所・避難行動などは各種防災マップでチェックして、いざというときに素早く行動できるように準備しておきましょう。

札幌市防災アプリ「そなえ」

ハザードマップの閲覧や災害時の避難場所などの防災情報のほか、避難指示等の避難情報や避難所の開設状況など、災害発生時に役立つアプリです。

ていねっていいね！
手稲区の
魅力スポット
を紹介

貴重な 自生植物たち



区内各所で咲き誇る 桜



街角を彩る アート



JR手稲駅自由通路「あいくる」



区シンボル 手稲山



手稲稲積公園



山口緑地



サッポロテニススキー場



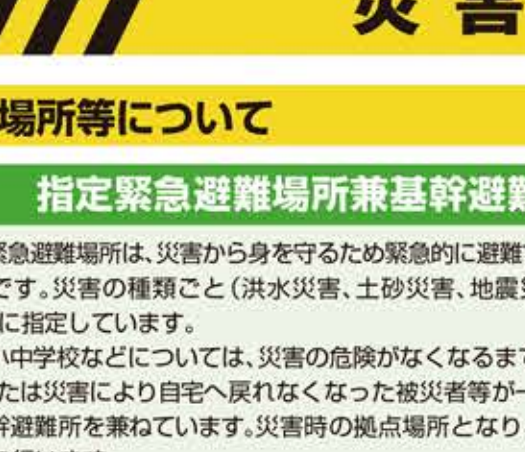
明日風公園



手稲山自然歩道



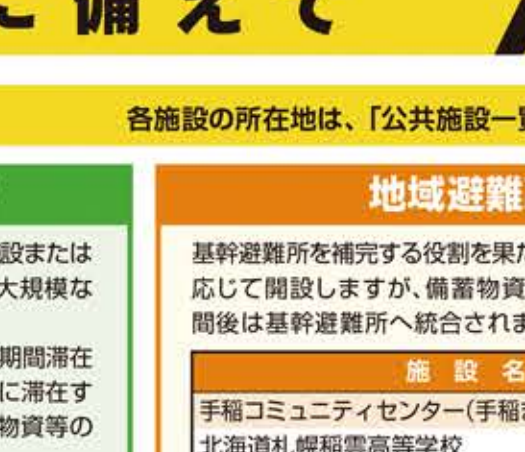
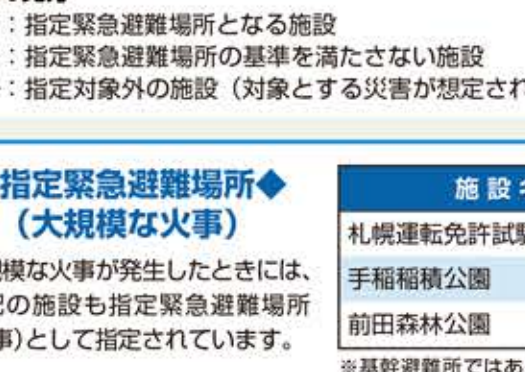
前田森林公園



明日風公園



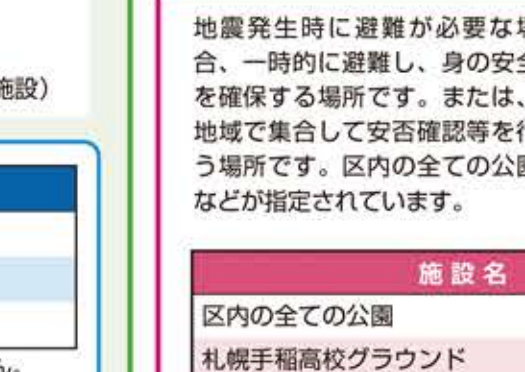
手稲山自然歩道



手稲山自然歩道



手稲山自然歩道



手稲区公営施設一覧
Public Facilities List

手稲区ガイド

TEINE WARD GUIDE & MAP

手稲区役所 総務企画課広報係

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条117丁目
☎011-861-2432 (直通)

手稲区マスコット ていね

区制の周年を記念して平成21年に誕生。平和とためぐりの象徴として「手稲」の「て(手)」と「いね(麦)」を合わせて「ていね」と名付けられました。

手稲区役所

www.city.sapporo.jp/teine/